

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	超深度掘削が拓く海溝型巨大地震の新しい描像	
領域代表者名	木村 学 （東京大学・大学院理学系研究科・教授）	
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度	
<p>【科学研究費補助金審査部会における所見】</p> <p>本研究領域は、日本が開発した地球深部探査船「ちきゅう」を用いて海溝型巨大地震発生帯である南海トラフの超深度掘削を行い、断層物質の採取・分析及び孔内観測を世界で初めて実施することにより、プレート境界で発生する海溝型巨大地震に対する全く新しい描像を得ようとするものである。この種の研究は世界初であり、これまで世界をリードしてきた我が国の地震研究をさらに発展させることが期待できる。超深度掘削は統合国際深海掘削計画（IODP）との密接な連携によって遂行されるものではあるが、回収試料及びデータの分析・解析に係わる科学研究の実施の必要性・緊急性はきわめて高い。また領域代表者のリーダーシップ及びマネジメントについては十分な実績がある。本研究領域は、巨大地震の発生機構を理解するための基礎研究として、我が国が実施するメリットが十分にあり、これまでにない画期的な成果を上げることが期待される。</p>		